記者発表資料

令和4年7月２８日
国 土 交 通 省
郡山国道事務所

「国道４号 鏡石(かがみいし)拡幅」全線４車線開通後の交通状況

郡山国道事務所が行ってまいりました「国道４号 鏡石(かがみいし)拡幅」事業（延長４．５㎞）については、令和４年３月１６日（水）に全線４車線通行が可能となりました。
この度、開通後の交通状況をとりまとめましたのでお知らせします。

１．走行速度が改善され、交通混雑が緩和

・通勤時間帯の走行速度が約１７km/h向上

＜朝ピーク（7～8時台）＞
【開通前】約２３km/h ⇒ 【開通後】約４０km/h

＜夕ピーク（17～18時台）＞
【開通前】約２６km/h ⇒ 【開通後】約４３km/h

２．道路の適切な機能分担、通学路の安全を確保

・国道４号交通量は約２割増加
・一方で、国道４号と並行する町道の交通量は約２割減少

＜国道４号＞
【開通前】１８，１００台／日 ⇒【開通後】２１，９００台／日

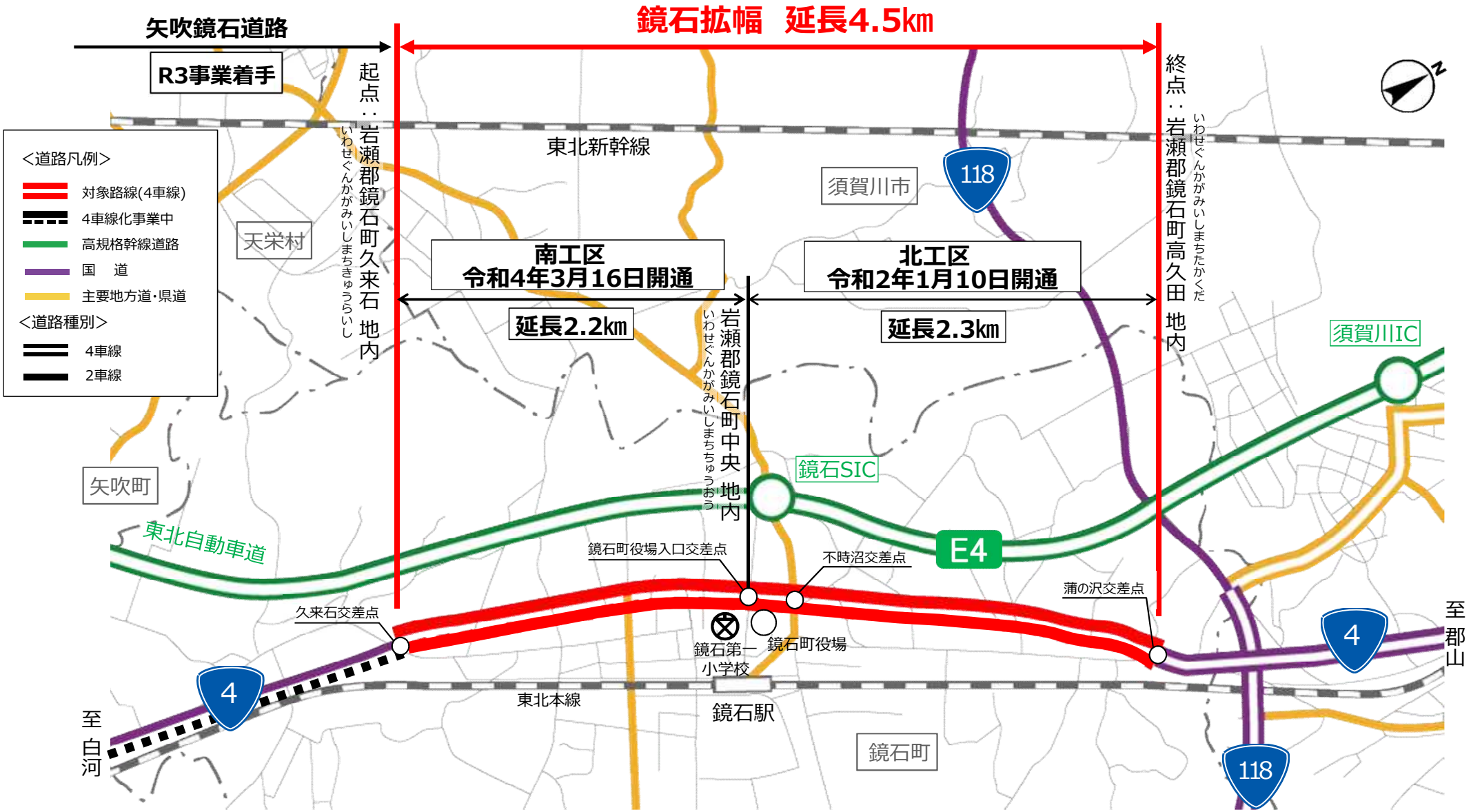
＜並行する町道＞
【開通前】 ９，０００台／日 ⇒【開通後】 ７，６００台／日

【発表記者会：郡山記者クラブ、白河記者クラブ】

＜問い合わせ先＞
国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所 TEL 024－946－0333(代表)
副 所 長 袖林(そでばやし) 淳(じゅん) （内線２０４）
調査課長 荒木(あらき) 洋平(ようへい) （内線４５１）

国道4号　鏡石拡幅（かがみいしかくふく）

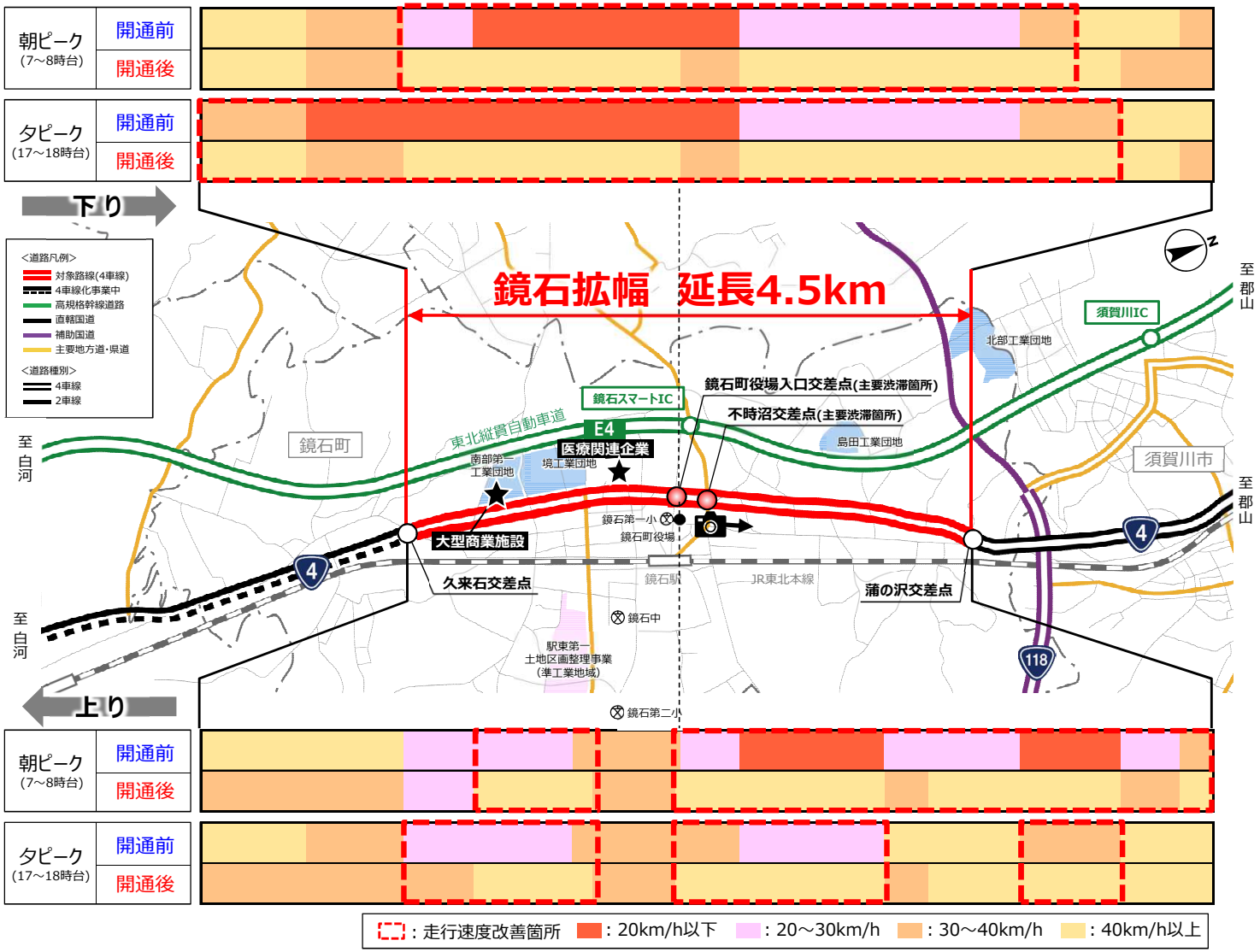
別紙



整備効果 ①　走行速度の変化

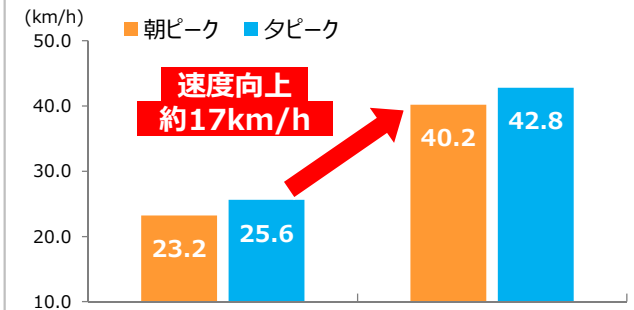
- 整備区間の国道４号沿線には大型商業施設や企業・工場が立地し、通勤や施設利用、物流等の交通が混在。
- 交通の集中により、整備区間内の交差点周辺では、通勤時間帯を中心とした慢性的な渋滞が発生。
- 全線４車線化により、整備区間の走行速度の改善（約17km/h向上）が図られ、交通混雑を緩和。

▼全線開通前後の朝タピーク時速度



出典：ETC2.0プローブデータ［ 開通前（H31.4 平日）、開通後（R4.4 平日）］

開通前後の速度変化（整備区間平均）



出典：ETC2.0プローブデータ
［ 開通前（H31.4 平日）、開通後（R4.4 平日）］
［ 朝ピーク:7～8時台、タピーク:17～18時台 ］

▼国道４号の交通状況





【一般道路利用者の声】

○朝夕の渋滞緩和、通勤時間の短縮等の効果を実感している。

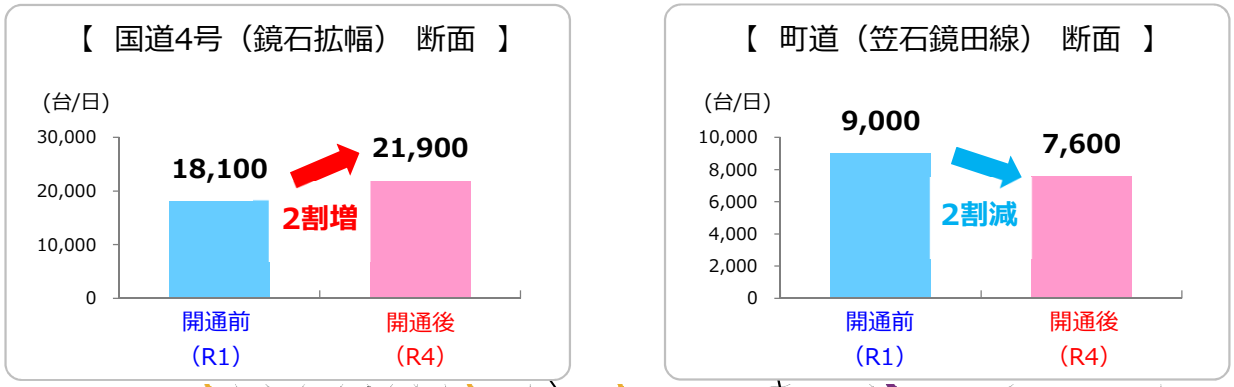
○国道4号の沿線に住んでいるが、開通前は混雑していたため、国道4号を利用する気にはならなかったが、今は国道４号をメインで利用している。

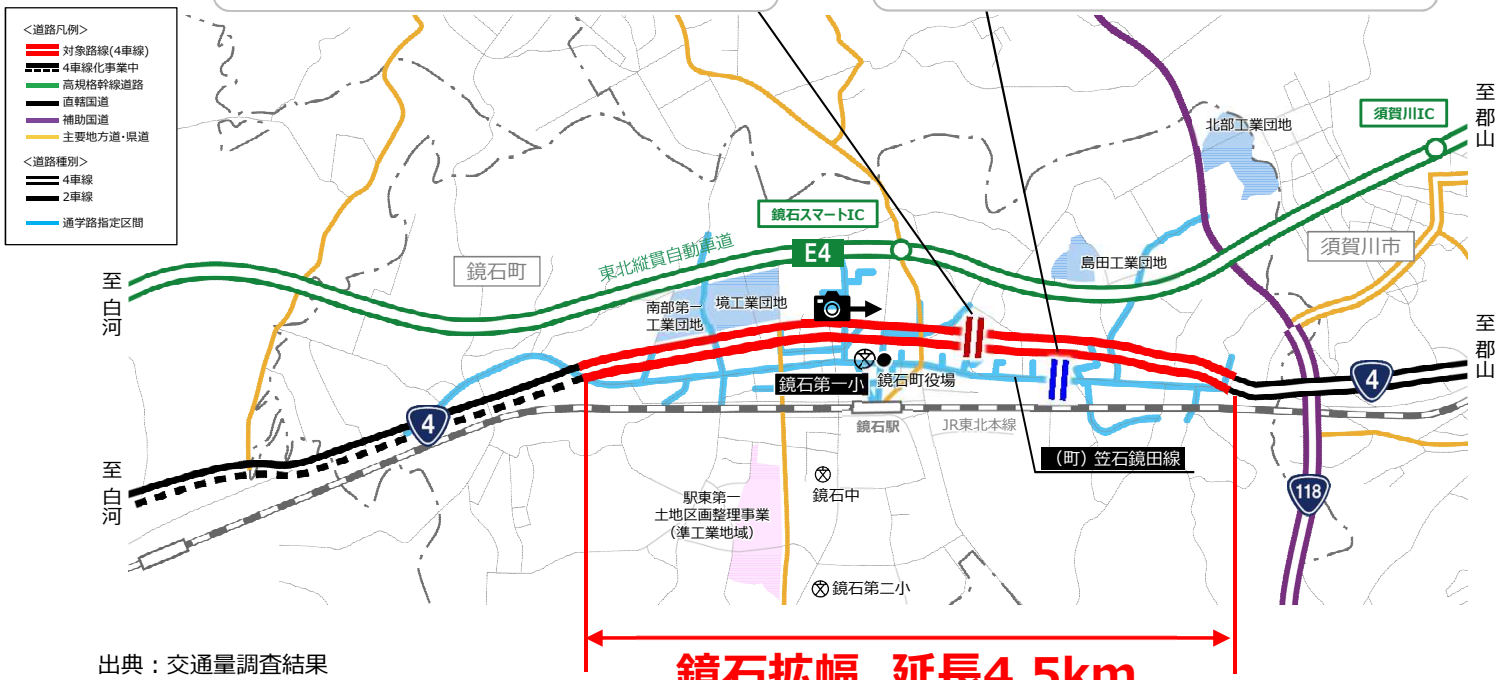


出典：R4.6ヒアリング調査結果

整備効果 ②　交通量の変化

- ◆ 整備区間の国道４号及び周辺道路は、鏡石第一小学校の通学路に指定。国道４号の混雑を回避した車両が周辺道路に流入。
- ◆ 全線４車線化により、国道４号交通量は約２割増加、一方で並行する町道(笠石鏡田線)交通量は約２割減少。
- ◆ 道路の適切な機能分担が図られ、通学路の安全を確保。





出典：交通量調査結果
開通前(R1)　：R1.9.19～25平日平均
開通後(R4)　：R4.6.8～14平日平均

▼国道４号の通学状況





【鏡石第一小学校の声】

○通学路としている町道側の交通量は減少している印象がある。

○４車線化に伴い、歩道も広くなったため、児童が通学時余裕をもって安心して通れるようになっている。



出典：R4.6ヒアリング調査結果